

第17期（2020年度）事業計画（案）

2020年 10月 1日から 2021年 9月 30日まで

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク

1. 組織体制

特定非営利活動法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク役員一覧 ＊は新任

理事長： 五島 洋 （弁護士：弁護士法人飛翔法律事務所 代表）
 理事： 岩井 誠人 （同志社大学理工学部教授）
 大谷 康弘 （公認会計士・税理士：KIV 税理士法人 代表社員）
 長田 一郎 （㈱ホロニック 代表取締役社長）
 田中 譲 （学校法人ノートルダム女学院 特別顧問）
 西村 隆志 （弁護士 西村隆志法律事務所 所長）
 橋本 雅文 （同志社大学 理工学部 教授）
 文 美月 （㈱ビューティフルスマイル 代表取締役）
 眞下 晋一 （弁理士：特許業務法人アローレインターナショナル）
 松本 敏史 （早稲田大学 商学大学院会計研究科 教授）
 和田 元 （同志社大学 理工学部 教授）
 大倉 英士 （弁護士 中京法律事務所 所長）
 本田 凜太郎 （社会保険労務士：社会保険労務法人すばる 会長）
 監事： 恩村 政雄 （O.B.C.C 経営コンサルタンツ 主宰）
 吉村 一成 （税理士・不動産鑑定士：吉村鑑定税理士事務所 代表）

2. 今年度の事業計画

基本方針

コロナ禍で活動ができなかった反省を踏まえ、どうにか3つの塾活動を少しでも行っていきたい。特に、社会起業家養成塾の10周年記念イベントとして、卒塾者の交流会を実現したい。また、次年度こそ寄付講座でNPOとしての活動を授業という形で学生に還元したいと考える。

(1) 産官学連携に関する研究会等の開催事業

・逸品塾 ＊資料 逸品塾フライヤー

第12期後半 ＜2020年10月～2021年3月＞

◆良書会 ZOOMにて開催

2020年11月13日（金）安酸師範代担当 課題：「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

2020年12月11日（金）島師範代担当 課題：「なぜ戦略の落とし穴にはまるのか」

◆第12期最終報告会 キャンパスプラザ京都にて開催予定

2020年12月18日（金）プロジェクトαの報告会と第13期の概要説明会ほか。

第13期前半（予定）＜2021年4月～2021年9月＞

◆全体会議

現時点ではWEB開催、対面開催とするか未定。講師はほぼ確定しているが、日程調整中。

なお、テーマは以下の通り。

- ・企業と従業員の異なる「心理的契約」から生じる諸問題
- ・社員の「ベクトル合わせ」のための留意点
- ・「全品良品」の追求は、利益向上に結び付くか
- ・だれも気付かないコロナ禍が企業経営に及ぼす影響
- ・環境配慮と企業収益性の関係（SDGs の観点からの分析）
- ・ダンバーシティ経営の現状
- ・価値共創と顧客満足 等

◆プロジェクトα

第13期テーマ：「OJTと異動を科学する：2つの人材育成方法は本当に機能しているか」

◆良書会

島師範代、安酸師範代にて、課題選定中。

上記活動に加え、塾長師範代等の関係者の研究支援、卒塾生同期会や研究会サポート、各プロジェクトグループ活動支援、事業所訪問旅費・宿泊費等支援、ビジネス研究科事業である各種研究会との連携を予定している。尚、予算執行決済については理事長が行う。

・士業研究会

士業研究会では大阪市立中央図書館と共催で同館が開催するビジネス講座元気塾を開催している。次年度には以下のテーマで士業研究会メンバーが講師をつとめる。

2021年1月9日（土）「決算数値の読み方」

担当：公認会計士 岩淵 貴史 氏（予定）

2021年1月16日（土）「弁護士が教える交渉術とノウハウ」

担当：弁護士 五島 洋 氏（予定）

2021年3月27日（土）「事業計画関連講座」（仮題）

担当：中小企業診断士 恩村 政雄 氏（予定）

・プロジェクト科目推進研究会

今年度は、本NPOとしてプロジェクト科目に応募する予定はない。

(2) 産官学連携による起業家育成及びサポート事業

・社会起業家養成塾（ソーシャル・アントレプレナー）

コロナ禍でも可能な形を模索しつつ塾活動を行うと共に、10周年を迎えるため、卒塾生の集いなどを実現したい。

・DVT 学生ベンチャー支援（アントレプレナー教育）→起業家予備軍の育成

前年は新型コロナウイルス感染拡大のため、オフラインでのイベントはほぼ実施を回避し、オンラインによる個別相談を中心に実施した。

新型コロナの影響で起業家を目指すアントレプレナーシップに富んだ学生が、社会との接点からの学びの機会が減少することがないように、ニーズをしっかりとキャッチアップし、オンラインでの情報交換などを行って行く。

またそのような学生が複数名集まれば、オンラインによる勉強会、座談会なども開催したい。社会状況が落ち着きを見れば、十分な感染対策を実施の上、オフラインでの勉強会などの開催を検討してみたい。

DVTの幹部とは継続的な連絡で、情報交換を行い、できる限りの活動支援を行う。

・ **未来経営塾（事業承継・若手起業家の育成）**

コロナ禍を踏まえ、不定期開催とならざるを得ないが、数回でも実現したい。WEB開催も選択肢として考えて行きたい。

・ **寄付講座（学生への訴求・SDGs時代の起業）**

NPOとして寄付講座の開設をして、学生への訴求を図るものであり、次年度こそ良い形で実現したい。

・ **経営支援相談室（田中理事）**

相談者への対応を行う。

(3) 法人の活動を広く知らしめるための情報誌発行やホームページによる広報事業

当NPO法人独自のスタッフを中心の運営になっているため、メルマガの頻度や内容をどうするのかという点は検討しつつ進めていきたい。

以 上